

募集 エコプラ活動室
登録団体

環境保全やごみ減量などの活動をしている団体が登録することで、くさつエコスタイルプラザを団体活動の場として利用できます。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

㊦ 来年3月31日(水)まで

対 市内で活動している、環境保全やごみの減量、環境美化に取り組む団体

申・問 くさつエコスタイルプラザ
(馬場町、クリーンセンター内)
☎561-6580、FAX561-6583

募集 ごみ問題を考える
草津市民会議員

ごみ減量と環境美化を進める活動を一緒にしませんか。

対 市内に在住か通勤・通学している個人か、市内に事務所がある団体

申・問 ごみ問題を考える
草津市民会議員事務局
(馬場町、クリーンセンター内)
☎561-6580、FAX561-6583

募集 農用地を貸したい人・
借りたい人

農地中間管理機構が、農地の有効利用などのために、農用地を貸したい人・借りたい人を募集します。

申 貸したい人 5月7日(木)～
6月30日(火)

借りたい人 通年

申・問 農林水産課(4階)
☎561-2347、FAX561-2486
県農地中間管理機構大津・
南部支所
☎516-4570、FAX516-4560



委員の募集

対 18歳以上で、市内に在住か通勤・通学しているか、市内で市民公益活動を行っている人。ただし市の議員や職員、他の審議会などの委員を除く

他 会議出席の際、託児が必要な場合は、担当課にご相談ください

男女共同参画審議会委員

男女共同参画の推進に関する重要な事項について審議します。

任期 7月～令和4年6月

※年2～4回程度の会議

定 3人(選考(面接))

申 5月1日(金)～15日(金)(消印有効)

申・問 男女共同参画課(7階)

☎565-1550、FAX561-2489

情報化推進懇話会委員

「草津市情報化推進計画」の実行計画について、必要な事項を協議します。

任期 7月～令和4年6月

※年2回程度の会議

定 2人(選考(面接))

申 5月1日(金)～18日(月)(消印有効)

申・問 経営戦略課(7階)

☎561-2326、FAX561-2489

文化振興審議会委員

文化振興計画の進捗管理や、重点プロジェクトの検討、文化事業の検証などを行います。

任期 6月～令和4年6月

※年3～4回程度の会議

定 2人(選考(面接6月3日(水)))

申 5月15日(金)～29日(金)(消印有効)

申・問 生涯学習課(6階)

☎561-2428、FAX561-2488

障害者施策
推進審議会委員

障害者に関する企画について審議します。

任期 7月～令和5年6月

※年3～4回程度の会議

定 3人(選考(面接))

申 5月1日(金)～22日(金)(消印有効)

申・問 障害福祉課(1階)

☎561-6972、FAX561-2480

春の公園写真コンテスト

草津川跡地公園で春に咲く花や公園の風景を題材とし、同公園の魅力を表現した写真を募集します。詳しくは、お問い合わせください。

対 A4サイズまたは四つ切りサイズ

(ワイド不可)

他 入賞作品展示 6月10日(水)～7月10日(金)

申 5月31日(日)まで(消印有効)

申・問 草津川跡地公園 de 愛ひろば(大路二)

☎562-5010、FAX562-5092



自転車の運転に注意！



自転車を利用するときは、速度を控えめにして周囲の安全をよく確認し、道路の左端や自転車道を走行するなど、安全走行に努めましょう。

問 交通政策課(5階) ☎561-2343、FAX561-2487

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、市主催のイベントなどは中止・延期となる場合があります。詳しくは、担当課に直接お問い合わせいただくか、市ホームページでご確認ください。



はしかわ市長の

だいすき！くさつ 出会いの
365日～

皆様と心を一つに

今春も市内の桜はみごとに咲き誇っていました。例年と違った日々を過ごすことになりました。新型コロナウイルス感染症に感染し、闘っている方が多数発生し、皆様、ご不安な気持ちで毎日をお過ごしになられていると存じます。

市では草津市コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、情報共有や対策について協議し、決定しているところです。

4月7日、7都府県を対象に発出された国の緊急事態宣言ですが、16日には対象地域が全国に拡大され、法律に基づき、知事が不要不急の外出自粛や、事業者に対して休業を要請できることになりました。

本市におきましても、市立幼稚園、子ども園(教育認定)、小中学校の休園、休校や、イベント・行事の中止、公共施設の休館、利用停止などを決定し、感染拡大防止に取り組んでいます。

皆様方におかれましても、ご自身はもちろん、ご家族や大切な人、そして社会を守るために、3密(密閉、密集、密接)を徹底的に避けるとともに、不要不急の外出を厳に自粛いただき、咳エチケットや手

洗いをこまめに行っていた、きっかり栄養を摂り、夜はぐっすり寝て、新型コロナウイルスを寄せ付けない生活を心掛けてください。

市ホームページでは「うちでチャレンジー健康応援プロジェクト」と題して、自宅で楽しく学びや運動ができる動画を掲載させていただいております。トップページのバナー「うちでチャレンジ」からご覧いただけます。

また、学校などが休校の間、自宅学習ができるような動画も順次、紹介しています。

当面、皆様には、ご不便、ご負担をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

まだまだ経済的にも苦況が続きますが、「朝が来ない夜はない」と言います。皆様が安心して健康に生活できる日が来るよう、市としても全力で取り組んでまいります。

どうか皆様、医療関係者など、危険を冒して社会を支えている方々に感謝するとともに、心を一つに互いに助け合いながら、この難局を乗り越えましょう。



うちで
チャレンジ

※このメッセージは4月20日時点のものです

くさつ 歴史ギャラリー 150

問 歴史文化財課(6階)
☎561-2429、FAX561-2488

転用された考古資料～鍋を加工した温石～

遺跡から見つかる遺物の中には、本来の用途で使われた後、別の道具に転用された事例があります。今回紹介する温石という遺物は、加熱した後に布などにくるみ、今のカイロのように寒さを防いだり、患部を温めたりするなどの用途で用いられました。

野路岡田遺跡(南草津)から出土したこの温石は、平安時代後半から鎌倉時代ごろのものと考えられます。加工がしやすく保温性が高いという特徴を持つ滑石で作られており、大きさは長辺が約9・5cm、左端上部には半円となつた小さな穴が空けられています。また、写真では少し分かりにくいですが、全体の形状は平らではなく、少し湾曲していることから、石



▲野路岡田遺跡出土温石
(石鍋の転用品)

をくり抜いて作った鍋(石鍋)の一部を転用したものと考えられます。

石鍋の中には、ススがついているものもあることから、実際に煮炊きに使われていたと考えられます。内外面が滑らかになるまで磨かれ、保温性が高い滑石で作られていたため、石鍋の一部を温石に転用することは材質的にも形状的にも理にかなっているといえます。

現代は、便利な日用品をいつでも安価で、手軽に入手することができますが、この温石から、昔の人々がモノを大切に使い続けた暮らしの中の、小さな工夫がうかがい知ることができます。